

城戸 保 「ある風景」

Tamotsu Kido "A Landscape"

[会 期]

2014年1月11日(土)~2月8日(土)

火曜日~土曜日 12:00 - 19:00 (日、月、祝日休廊)

[レセプション]

2014年1月11日(土) 18:00 - 20:00

[会 場]

ハギワラプロジェクト

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-18-2-101

京王新線・都営新宿線「初台」駅東口より徒歩5分 / 「新宿」駅南口より徒歩15分 /

都営大江戸線「都庁前」駅より徒歩12分

T / F: 03 6300 5881 E: info@hagiwaraprojects.com

「鉄塔と梅」2013, C-print, 1130x900 mm
©Tamotsu Kido

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、2014年1月11日(土)より、当画廊におきまして城戸保の個展「ある風景」を開催する運びとなりました。

今展覧会では新作写真10点を展示いたします。

城戸は、1974年生まれ、愛知県立芸術大学の榎田伸也クラスで油画を専攻しますが、「光がもたらす現象」に興味を持ち、独学で写真を学びました。

城戸の作品は、厳かなフォルムとその美しさで観る者に迫ります。鳥、馬などの動物や、湖に写りこむシンメトリーな風景、また水面に置かれた木の葉と歪んだその影などを撮影した白黒写真は、凛とした光と影のコントラストで表現され、即物的でありながら幻想的な要素を持ち合わせています。また、近年のカラー写真では、光の介在を色彩によって強調し、端然とした佇まいの中に作家の世界感をより強く印象づけています。一貫してフィルムを使って自然光で撮るという方式を取り、写真本来の真骨頂とも言える表現を突き詰める迫力すら感じる画面は、私たちに改めて写真を観る喜びを与えると同時に、本質を求める意識を喚起させるようでもあります。

...「ある風景」は午後の日差しを浴びながら、静かに佇んでいる。太陽の強烈な光は、重層的で物質的な「かたち」を立ち上げ、地上にある全ての「もの」のコントラストと彩度を上げる。目の前の「世界」は単純ではない。何気ない日常の風景には、見ることや在ることの不思議、驚異が潜んでいる。

私の仕事は大判カメラを用いて、自分の「世界の見方」を確定することである。写真は「光」のある一状態を意識化した視点で定着できる表現である。「世界」を客観的で支配的に描写する為には、自分の手癖や手痕を残す絵画は不向きである。私の写真には意識的、無意識的に出来た幾つかの「型」や「法則」があり、作品はそれらを更新し、時に「型」を崩すことで前進して行く。

私は写真家である。私がやるべきことは、「写真の本質」のストライクゾーン(ど真ん中)に、只ひたすら豪速球を投げ込んで行くことだけである。 城戸 保

城戸 保 (きど たもつ)

1974年三重県生まれ。2002年、愛知県立芸術大学大学院美術研修科修了。主な展覧会に、「森と畑」(2012、See Saw gallery + café、愛知)、「SHOCASE#2 curated by minoru shimizu」(2013、eN arts、京都)、ギャラリー東京ユマニテ(2010、東京)、「放課後のほらっば - 榎田伸也とその教え子たち -」(2009、愛知県美術館、愛知)、「young artist world patronage program」(2007、モンブラン銀座本店、東京)、ギャラリー NAF(2003、愛知)など。

つきましては、ご多忙中恐縮ですが、是非貴誌貴社にてご掲載頂けたら幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。

HAGIWARA PROJECTS 萩原 info@hagiwaraprojects.com tel & fax 03 6300 5881